



平野 広行 議員
大栄会

問 弥富市第4次行政改革は

答 第2次総合計画の中で検討



▲未利用地の水防倉庫跡地(鍋田町地内)

問 弥富市行政改革について以下問う。

改革の進め方は。

答 (総務部長) 第4次実施計画で具体的に示している。毎年度見直しを行い、重点項目ごとに取り組む。

問 今後どのような取り組み方で効果を上げていくか。

答 2022年度に11億1千万円の効果が出るよう目標を実施計画に明記し、職員の意識改革もしていく。

問 未利用地の取り組みで鍋田町にある水防倉庫跡地の利用は。

答 (総務課長) 売り払いや貸し付けのタイミングを計る。道路整備が完了すれば需要は高まると考えている。

問 企業誘致などの促進において18年度から29年度までの奨励金対象企業の総数および交付額は。

答 (開発部長) 18社で交付額は約21億5千万円。

問 楠地区において企業誘致が可能な埋立地の面積は。

答 約2ha。直近の埋立地が9・6haある。

問 今後の企業誘致への取り組みは。

答 県、名古屋港管理組合と連携し、推進していく。

問 今後の企業誘致奨励に関する条例についての考えは。

答 近隣を参考に検討していく。

問 公共施設・インフラの最適化は

答 出前講座等で市民の合意形成を



▲本市南部の工場では航空機の主要構成品と部品を製造(楠地内)

問 第4次行政改革における公共施設・インフラの最適化について問う。

今年3月に設置された、弥富市公共施設マネジメント推進委員会のメンバー構成および、推進本部との協議の進捗状況は。

答 (総務部長) 市長を本部長とする公共施設マネジメント推進本部会議を3回開催。外部有識者を含め7名の行政改革推進委員会を設置。9月20日に第1回を開催予定。本年度は本部会議を4回、推進委員会を2回開催予定。

問 公共施設再配置計画等の市民への説明は。

答 市民参加の説明会や、出前講座を予定。計画にある統廃合に向け、有識者講演会も開催したい。